

# 2年目の研修を終えて

幡多けんみん病院での初期臨床研修が始まってから、早くも2年が経ちました。無事に初期研修を終えられる喜びと、大好きな幡多けんみん病院や大切な同期の仲間から離れてしまう寂しさが入り混じっております。研修をはじめてすぐの頃は、毎日目の前のタスクをこなすことに精一杯であったことを今でも鮮明に覚えています。周りの先生方やコメディカルの方々、そして患者さんに沢山迷惑をかけながら、様々な経験を繰り返し重ねていくことで、なんとかここまで研修を乗り切ることができました。また、研修2年目は高知市内の病院で研修させていただくことがほとんどでしたが、けんみん病院でご指導いただいた経験を活かすことができ、安心して研修を行うことができました。けんみん病院は経験豊富な指導医と相談をしやすい若手の先生が沢山在籍されており、コメディカルの方々にも沢山ご指導いただき、研修するにあたって非常に良い環境だったと思います。加えて、幡多地域医療を担う病院だからこそできる経験がたくさんあり、へき地医療、地域医療のどちらに関しても考える機会が多くあります。医師3年目からは専門分野での研修となりますので、最初の2年間をこのような環境で過ごせたことは、私の医者人生にとって確実にプラスになると考えております。新たにけんみん病院で研修される先生方も、安心して研修生活を送ることができると思います。3年目からは高知大学医学部附属病院で専門医を目指して引き続き研修させていただく予定です。医師としてはやっとスタートラインに立った状態であり、初心を忘れずに邁進してまいります。更にパワーアップして、内科医としてけんみん病院へ帰ってこられたら嬉しいです。2年間、本当にありがとうございました。

**【初期臨床研修医 吉本 龍太郎】**

令和3年4月から令和5年3月までの2年間、幡多けんみん病院で初期研修をさせていただいた筒井大

智です。まずは2年間の初期研修を無事に修了することができ、ほっとした気持ちでいます。私は高知県出身で、祖父母が土佐清水に住んでいたこともあり、自然豊かな幡多地域での初期研修をしないと、幡多けんみん病院の初期研修プログラムに応募させていただきました。研修が始まった2年前は何もわからず右往左往する日々でしたが、上級医やコメディカルの皆さん、そして患者様の温かさに支えられて、とても充実した2年間を送ることができました。後輩として入ってきた1つ下の代の研修医の皆さんも、頼りない僕たちに色々質問してくださったりと、一緒に勉強させてもらえたことを感謝しています。ありがとうございました。医師としてのスタートとなる貴重な2年間を幡多けんみん病院で過ごし、沢山の学びを得て成長できたことはかけがえのない財産になったと思います。まだまだ未熟ではありますが、ここで学んだことを次へ活かし、新たなステージでも邁進してまいりたいと思います。そしていつか幡多けんみん病院へ戻ってきたときには、いただいたご恩を少しでもお返しできるよう、精一杯頑張りたいと思いますので、その際はどうぞよろしく願いいたします。2年間、本当にありがとうございました。

**【初期臨床研修医 筒井 大智】**

2年間の初期研修があつという間に終わってしまいました。思い返すと、一年目の私は何も出来ないくせに生意気で、多くの方々にご迷惑をおかけしたことを思います。しかしそんな私に対して、スタッフの皆様は常に優しく根気強くたくさんのお話を教えてくださいました。特に麻酔科の先生方や先輩研修医であった津野先生には進路に関しても大いに助言をいただき、心から感謝しています。二年目は学んできたことを実践し更に深く学ぶことを目標にしていました。そのため当院の、外部病院へ制限なく行き来できる環境は大変貴重でした。救急科へ進むことを決めていた私はこ

## 2年目の研修を終えて

の制度により、恐らく史上初の試みだったと思います。が、県内全ての三次救急病院で救急科研修を行うことができました。そうして外部の病院で学んだ上で当院の救急で改めて研修を行うと、幡多地域の救急診療を一手に担う当院ならではの責任と工夫、そして多大なる努力があることが再確認できました。そして同時に当院にも救急科専門医が必要であることを痛感致しました。来年度より同期の筒井大智と共に高知大学医学部 災害・救急医療学講座に入局するため、いつか必ず大好きな幡多けんみん病院に救急科専門医として戻り、幡多地域の医療を支える一助になっていきたいと思っております。

### 【初期臨床研修医 小島 瑞貴】

2年間の研修医生活があっという間に終わってしまいました。1年目は医師としての基本的知識や必修科、2年目は自分の将来に向けて必要となる知識や技術について学んできました。他科との垣根のないアットホームな雰囲気のかんみん病院に惹かれ研修先として選びましたが、実際に働いてみるとそれだけでなく全員が幡多地域の医療を守るという強い決意の元、働いていることが分かりました。さらに来年度より眼科を専攻することを伝えると、元々はカリキュラムにない眼科の研修が出来るよう取り計らっていただきました。このような研修医1人1人に合わせて柔軟に研修環境を用意していただけることも当院の魅力の一つだと思います。今後、職務を全うできるほどの力をつけた暁には是非もう一度幡多けんみん病院に戻り、幡多地域の医療を支えるべく尽力したいと思います。最後に2年間ご指導ご鞭撻いただいた先生方、慣れない手技や検査を手伝って頂いた医療スタッフのみなさん、研修生活をサポートしていただいた事務のみなさん、本当にありがとうございました。

### 【初期臨床研修医 小路 梨華】

2021年の医師国家試験に合格し働き始めてから、すでに2年が経過しました。初めのうちは座学と臨床の違いに戸惑い、上級医の先生やコメディカルの方々に教えていただいたことをこなすだけで精一杯だったことを覚えています。それから時間が経つにつれて少しずつ自分で考えて動けるようになり、出来ることも徐々に増えていきました。最近ではもちろん上級医に相談し指導の元、様々な検査や治療、その説明も任せただけできるようになりました。のびのびと一つ一つのことをじっくりと考えてできる、幡多けんみん病院の環境が自分にはとてもあっていると感じました。私は4月からは高知大学の統合外科に入局します。大学には地域枠で入学しているため、数年後には幡多けんみん病院に帰ってきたいと考えています。希望通りになるかはわかりませんが、そのときには成長した姿を見せられるように大学病院で修練を積んでいきたいと思っております。2年間という短い期間でしたがありがとうございました。

### 【初期臨床研修医 荒木 滉平】

